

# 島根県立 吉賀高等学校



地域になくなくてはならない「部活」を目指す

## 吉高地域クラブ

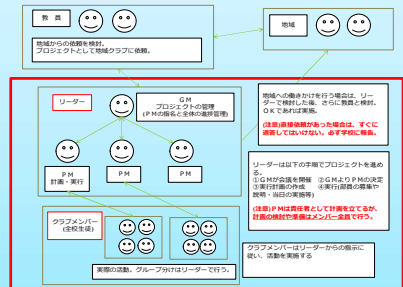
### 学校概要

- 将来を見据えたキャリア教育をもとに、本当の豊かさを知る教育を目指す。
- 吉賀地域で中高一貫教育を展開。その「目指す生徒象」のひとつに「ふるさとを愛する生徒」掲げる。
- 平成23年度より**離島・中山間地域の高校魅力化・活性化事業**に取り組む。



### 活動体制

- 平成26年6月に設置、全校生徒約90名がクラブメンバー。
- 企画・地域学習・ボランティアの3部門により活動。
- クラブリーダーを中心に全校生徒がメンバー。組織的な活動を展開
- 外部指導者は高校魅力化コーディネーター



※個々の活動にリーダーを設置し、役割分担を行ない、生徒を巻き込み、組織的に活動。

### 平成27年度の計画・方針

■昨年度の成果と改善点を踏まえて、より充実した活動を企画・運営する。よしか米を使った「ライスバーガー」考案や「吉高書道ガールズ」を行うなどして、地域行事活性化の一翼を担う。

- 【主な活動】※赤字が今年度からの新たな活動
- 4月 「よしか・夢・花マラソン」ボランティア
  - 「高津川アースデイ」発表・ボランティア
  - 6月 「田んぼの生き物調査」ボランティア
  - 「町内中学生一日体験入学」バラの飾り付け
  - 7月 「小学生夏休みわくわくクラブ（公民館事業）」宿題の手伝い
  - 「よしかランチ」ライスバーガーの考案・試作

- 8月 「吉賀町ふるさと夏祭りヤマメのつかみどり」ボランティア
- 9月 「小中地区民運動会」の運営手伝い
- 10月 「しまね町村フェスティバル」に参加 ライスバーガーの配布
- 「やしろ創業祭」ボランティア
- 11月 「きん祭みん祭農業文化祭」「七カ祭」への参加
- 書道ガールズ・ライスバーガー販売・ボランティア
- 3月11日 「忘れない3、11キャンドルの集い」企画・運営

### 平成27年度の活動～発展～

- 「よしか・夢・花・マラソン」ボランティアスタッフとして参加（平成27年4月）
- 「田んぼの生き物調査」注連川ボランティアスタッフとして参加（平成27年6月）
- 「オープンスクール」参加者に吉賀町産のお米を使ったライスバーガーを振る舞う（平成27年7月）
- 「吉賀町ふるさと夏祭り ヤマメのつかみどり」ボランティアスタッフとして参加（平成27年8月）



チップの回収、案内、写真撮影など

おにぎり作り、会場準備、生き物調査の補助、写真撮影、片付けなど

地域の農業祭での出店を目標に、吉賀町在住の講師の方を招いて試作を重ねています。

会場準備、受付、つかみどりの補助、監視、片付けなど

### 平成26年度の活動概要

- 地域の依頼を受け、リーダーを中心に全校生徒に呼び掛け、役割分担を行いボランティア活動を実施するほか、町内有志、婦人会、公民館等と協力したイベントの企画・参画。
- 吉賀町内の有機農作物を活かした「よしかランチ」の考案・作成、中学生向け「吉賀町・吉賀高校体験ツアー」の計画・立案。
- 吉賀町の有機農業や森林の現状と可能性についてフィールドワーク。

#### 【主な活動】

- 企画部門 「よしかランチ」の考案、「よしか体験ツアー」の企画・立案
- 地域学習部門 「コウヤマキ」・「ヒメバヤカモ」学習。吉賀町の有機農業・森林の可能性について検討
- ボランティア部門 「よしか夢・花マラソン」（4月）、「七カ（しちりき）祭り」（11月）、「きん祭・みん祭・農業文化祭」（11月）への参画、公民館事業への協力

### 平成26年度の活動の様子



柿木夏祭りのボランティア（平成26年8月）

「よしかランチ」の試作（平成26年8月）

田んぼの生き物調査注連川にのボランティア（平成26年6月）

「よしか・夢・花マラソン」ボランティアスタッフとして参画（平成26年4月）

ヒメバヤカモ生態調査（平成26年9月）

「七カ（しちりき）祭り」への参画。「よしかランチ」をふるまう（平成26年11月）

### 平成26年度を振り返って

- 地域の行事・関わりについて、高校生の参加・貢献が無理なく気軽に参加できるシステムが整いつつある。地域クラブという活動母体があることで、地域との連携がスムーズに。
- 地域のイベント自体も、高校生の参加で新風が吹きこみ、活発化。地元も高校生が関わると地域が明るくなるという理解が促進。
- 一方、一人が何役もこなさないといけない多忙感もある。リーダーの後継者を確保しつつ、「楽しく」「面白そう」な体験を仕掛けていく。

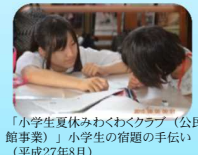
### 部員の想い

- 吉賀町の地域の一員として気楽に地域に出て行くことで、地域の方に喜んでいただけることがわかった。
- 地域の人たちと一緒に楽しくすることで、十分に地域の活動に貢献できることを実感した。
- 様々な地域のイベントを通して、吉賀町の人たちはとてもパワーがあり、地域のことを真剣に考えて活動しておられることがよくわかった。
- これからも積極的に地域に出かけていき、地域の方にお願いができるような活動にしたい。



### 指導者の想い

- 「地域の構成員の一員としての自覚を持たせ、吉賀高校生は吉賀町の活性化のために貢献できる存在であることを実感させる」ことを目標に据えて様々な活動を企画・運営しているが、生徒達の自主的かつ意欲的な活動の様子を見ると、それが十分に達成されつつあると感じている。
- 特に現リーダーの2年生7名は、毎回自らが楽しんで積極的に活動し、新しい活動にも前向きに挑戦しようとする姿を見せてくれるので、大変嬉しく思っている。
- また、生徒が地域の活動の中に入って行くことで、吉賀高校を身近に感じ応援してくれる地域の方が増えてきている。地域クラブの活動を通して、吉賀町の活性化と吉賀高校の活性化の相乗効果を期待している。



「小学生夏休みわくわくクラブ（公民館事業）」小学生の宿題の手伝い（平成27年8月）

### 地域系部活動の促進に向けて keyword：主体性・波及性・継続性

- ① 主体性・・・地域クラブがあることで、生徒がボランティア活動に気軽に参加できており、地域の活動への参加が定着している。
- ② 波及性・・・生徒に「地域のために」という意識が育ってきており、それに伴って吉賀高校を応援して下さる地域の方も増えてきている。
- ③ 継続性・・・生徒数減で生徒会会計等が逼迫しているため、補助金がなくなれば活動を縮小せざるを得ない。リーダーは全員他の部活動との兼部で活動しており、多忙感や人手不足のきらいがある。